

東日本大震災

平成23年3月11日に発生した
への幕別町の支援についてお知らせします。



人的支援



岡田町長に活動の様子や現地の状況を報告



◆被災宅地危険度判定の調査

3月31日から4月4日まで、町職員2人が宮城県仙台市に派遣され、地震等で被災した宅地の二次災害を防ぐために行われる、被災宅地危険度判定の調査業務を行いました。余震が続く中、仙台の市民が抱える住宅や住宅周りの不安を取り除けるよう危険度判定を行いました。
(派遣職員：左から久保、寺田)

◆行方不明者の搜索

3月25日から30日まで、幕別消防署の職員5人が派遣され、宮城県石巻市針岡地区を重点に、行方不明者の搜索にあたりました。近くには74人の児童が犠牲になった大川小学校があり、懸命な搜索活動を行いましたが、畑でも水深が2mを超えるなど、搜索は難航しました。
(派遣職員：左から稲上、近藤、千葉、宮脇、堀)

物資の支援

3月18日

町が災害に備えて備蓄している物品等の中から、毛布500枚と非常食（アルファ米）1,000食分を、陸上自衛隊帯広駐屯地に運び込み、自衛隊を通じて被災地に届けました。

4月1日～15日

町民のみなさんからの災害支援物資の受付窓口を町内3カ所に開設し、個人や団体などから163件の支援物資が寄せられました。

提供された物資は、カップ麺などの食料品が95点、ティッシュなどの生活用品が560点、筆記具などの学用品が472点、その他が13点の合計1,140点でした。

ご提供、ありがとうございました。

4月15日、19日

町民の皆さんから寄せられた支援物資を十勝総合振興局に搬入しました。今後、十勝管内の他の市町村から集まった支援物資とともに、札幌で集約され被災地へ届けられます。



支援物資の受付窓口を開設

支援物資を積み込む職員

住宅支援(受け入れ支援)

東日本大震災により被災し、住居を失った方や福島原子力発電所事故に伴い避難される方に対して、幕別町では、次の施設で受け入れの準備をしています。

◇幕別町内の受け入れ可能施設

区分	所在地	戸数等
公営住宅	忠類白銀団地	4戸
スキー場ロッジ	忠類白銀町	5棟
教員住宅	札内青葉町	3戸
農業担い手支援センター	新和	8戸
加藤建設株式会社社員住宅(民間)	忠類白銀町	2戸

義援金等の支援

3月14日から9月30日まで、日本赤十字社北海道支部幕別町区分が義援金の受け付けを行っています。

町のホームページでは、これまでに集まった義援金の状況を公開しています。

4月22日現在の義援金総額は12,398,450円となりました。



被災地の様子（消防職員、町職員撮影）

